

地域社会の防災力向上

給水管に直結し非常用飲料水を衛生的に確保（日水協認証）

わが国では、毎年のように大きな災害が発生しています。昨今は地震災害のみならず、線状降水帯の発生に伴う豪雨災害により、大規模な停電や土砂災害などによっても断水が発生するなど、災害とその被害の様相は大きく変わりつつあります。12年前に起きた東日本大震災では19都道府県約257万戸で断水が起き、被災者の生活に大きな影響を与えました。また、令和4年9月23日の台風15号の際には、静岡市においても約6万戸超の大規模断水の被害がありました。このように昨今の日本ではいつ、どこで大きな災害に襲われてもおかしくはありません。災害による断水時、命を繋ぎ止める水の確保は地域の人々の大きな関心事です。

一方で、衛生な水を常時供給する為にマンションや事業所においては、従来の受水槽方式から直結方式への変更が進み、非常時のリザーブタンクが無くなる傾向が進んでおります。

東京都においては「東京都とどまるマンション」普及促進事業が展開され、民間の分譲マンションの管理組合などに防災備蓄資器材購入の費用補助を行うなど、官民挙げての危機対策の機運が高まっております。

このような状況から、弊社は水インフラの一端を担う企業として広く国民の皆様に貢献できる設備として、水道管と直結し安全・衛生的な飲料水を約10^m確保が可能な「飲料貯水給水管」を開発致しました。

一般的に災害時に一人当たりが必要とされる飲料水は3リットルとされており、最初の3日間で必要な飲料水は9^l(0.009^m)です。10^mの水槽であれば1000人分(10÷0.009)の飲料水を確保できます。

また「飲料貯水給水管」は、水道メーター二次側に設置され、耐震性能・耐圧性能を有し、受水槽とは異なる水密構造であることが大きな特徴です。令和5年10月には(公社)日本水道協会の認証を受け、その確かな性能が確認されております。

民間の資力を活用し災害に対し一層の対策が図られることにより、自助を促進し住民の皆様のご非常用の飲料水の備蓄にご活用いただけるものと考えております。

防災関連メーカーとして、地域の皆様への安全・安心の支えになるという責務を果たすべく、今後も製品開発に努め、災害に強い企業・地域づくりに貢献してまいりたいと考えております。

国内初の取り組み 日本水道協会認証（JWWA）

民間のマンション・病院・介護施設・学校・ホテル・事業所様向けに、非常用飲料水貯水水槽（飲料貯水給水管）をご提供するの国内で初めての取り組みになります。

厚生労働省の推計値として、全国には90万基にも及ぶ受水槽が設置されておりますが、老朽化による更新時期を迎えた配水管路の耐震管化に伴い、衛生面への不安等から受水槽を廃する動きが進展し、その数は漸減傾向に向かっています。その結果、その代替需要により推計値として1万基の需要を見込んでいます。

株式会社カナサシテクノサービス 静岡市清水区に本社を置く、鋼製の耐震性貯水水槽専門メーカー。

全国に8,000基以上の防火水槽、180基以上の飲料水槽を納入している。

静岡県静岡市清水区北脇新田 279

TEL : 054-344-3636 FAX : 054-346-1055 担当 望月 mochiduki-t@kanasashi-tech.jp